



問 介護リフォーム 負担金の改善を

答 この4月から新制度を導入する

介護保険から給付支払いを受ける償還払い方式を取っている。この方式は、利用者がいったん全額を支払う必要があり、負担が大きくなる。



手すりで転倒防止

問 介護保険によるリフォームは、要介護者が住み慣れた自宅での生活を続けるために、手すりや床の段差をなくすなどの工事を行うもので、20万円までの工事が1割から3割の負担で行える。本村では、改修費の全額を業者に支払った後に、

問 介護保険による住宅改修における「受領委任払い」方式の導入については、令和4年4月から実施の方向で準備を進めている。今後、広報とかいなどを通じて、村民や関係する事業者へ周知を図りながら進めたい。



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟

そこで、利用者が自己負担分(1割から3割)のみを支払い、残りを村がリフォーム業者に直接支払う「受領委任払い」制度が利用できないかと、令和3年3月定例議会で質問した。その後の村の取り組みを伺う。

問 オーガニック*食材 を使った給食を

答 現段階においては、導入は難しい

問 農業に化学物質を大量に投入するようになって約70年。殺虫剤や除草剤は、農家の大きな助けになっているが、近年ネオニコチノイド系農薬が子どもの発達に影響を与えているのではとの報告がある。欧州や米国他では使用禁止や規制の対象に。子どもたちの健康で丈夫な心身を育むために、オーガニック給食の導入を進めるべき。

問 村では、地産地消を推進して安全・安心な給食を提供するため、東海村産や茨城県産の食材を使用するよう努



光風会
えり 恵利 議員
いつ

めている。給食にオーガニック食材を使用するためには、食材の安定的な確保や価格面など課題がある。現段階で、導入は難しい。

問 給食はさらなる安全確保が求められる。有機食材には、地元生産者の協力が要。農薬や化学肥料を使う慣行栽培からの転換には課題も多いが、成功事例はすでにある。国は有機栽培を大幅拡大の方向だが、本村は。

問 有機農業の推進は必要な取り組みであることから、引き続き有機農業に取り組む農業者を支援していく。

ミツバチ激減



ネオニコチノイド系農薬がハチの中枢神経を攻撃し帰巣本能をかく乱